

“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2015」
入賞 30 作品(優秀作品賞：10 作品・佳作：20 作品)を決定

- 17～82 歳にわたる幅広い世代が受賞！
- 高校生・大学生等の若い世代から 13 作品が入賞！
- 「戦争」「地域」「人」等をテーマにしたドキュメンタリー作品に良作が多数！
- 12/10（水）より、入賞 30 作品の全編公開配信をスタート（Web 配信）

特定非営利活動（NPO）法人「市民がつくる TVF」（代表理事：小林はくどう）が主催する、今年で 6 回目を迎えた“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2015」（TVF2015）は、国内外から寄せられた 217 作品（国内：141 作品／海外：76 作品）の中から、このたび入賞 30 作品（優秀作品賞：10 作品／佳作：20 作品）を決定しました。

＜入賞者の傾向＞

■高校生・大学生を中心に、20 代までの若い世代から 13 作品が入賞！

受賞世代は幅広く、17～82 歳にわたります。特に 20 代までの若い世代から、高校生・大学生を中心に 13 作品が入賞。高校生の作品には、重いテーマに意欲的に取り組んだ作品、学校生活にリンクするような青春の思いや悩みを表現した作品等があり、若い感性が感じられます。一方、大学生は明確な視点で、より深くテーマに目を向けた作品、鋭く問題に迫った作品が目立ちました。

また、今回も 60 代以上のシニア世代にもパワーがあり、9 作品が入賞。テーマを丁寧に追う、温かい視線で見つめる、あるいは被写体に辛抱強く向き合う、といった作品が見られました。

＜入賞作品の特徴と傾向＞

入賞作品のジャンルは、ドキュメンタリーが 23 作品と例年以上に多く、次いでドラマ 5 作品、アニメーション 2 作品となりました。

■ドキュメンタリーは例年以上の 23 作品が入賞、「戦争」「地域」「人」等をテーマにした良作が揃う

ドキュメンタリー作品は今回も良作揃いとなっています。テーマとして際立ったのは、“戦後 70 年”というタイミングもあってか「戦争」です。歴史のタブーに切り込んだ作品、未だに終わらない戦争孤児問題、戦時中の意外な秘話、戦死した親族の事実を紐解く作品等、マスメディアでは取り上げられない、まさに市民の視点だからこそ制作・検証できた貴重な映像財産とも言うべき作品です。

そして、身近な「地域」をテーマにした、まさに“TVF ならではの”市民目線が光る作品が今年も入賞しています。過疎化が進む温泉街に活気を取り戻すべく立ち上がる若者の“奮戦記”、無形文化財指定を受けた伝統行事を守る子どもたちを描いた作品、行政・民間企業をも巻き込み大型書店の誘致に成功した主婦たちの活動、墓地開発による自然破壊への問題提起等、地域活性化や地域創生、伝統継承や自然保護等への強い思いが感じられます。

また、「人」に目を向けた作品も目立ちます。障害を持つ父親と幼い息子の愛情を描いた作品や、ジオラマの“匠”による一連の制作風景を撮影した作品、ストーブづくりに励む職人を追った作品等は、ビデオを通じて身近な人々のありのままの姿を映しだします。一方、家族や自分に目を向けた作品もあり、“自画像”と家族とを映像に撮ったセルフドキュメンタリー、独り暮らしを決心した

作者が故郷への思いとともに自分の気持ちを語る作品等は、家族や自分にまっすぐ向き合い、個々の内面を浮き彫りにしています。

その他、東日本大震災の被災者の心の復興に挑む絵手紙教室を取材した作品、都会で忘れられていた自然感を蘇らせた街角の水車小屋の物語、コアジサシの“悲劇”を捉えた観察ビデオ等が入賞しています。

■ドラマは見ごたえのある5作品、アニメーションはクレイアニメと風刺的な短編の2作品が入賞

ドラマ作品は見ごたえのある5作品。海外からは、介護における母と娘の葛藤を描いた作品、出稼ぎや不法移民をテーマにした作品等、ドイツの社会派ドラマ3作品が入賞し、どの作品も表現力、構成力が優れています。国内では、高校生の青春ドラマ2作品が入賞しました。

アニメーションの入賞作品は、丁寧に撮影されたクレイ・アニメーション（国内）と風刺的な短編アニメ（海外）となりました。

<入賞者の表彰と作品公開>

■「発表・表彰式／上映会」（2015年1月）にて公開審査を実施、「ビデオ大賞」がついに決定！

入賞者の表彰は、来る2015年1月17日（土）に開催する「発表・表彰式／上映会」（会場：日本工学院専門学校（東京都大田区） ＊一般開放・入場無料）にて行います。また、今回を象徴する作品に贈られる「ビデオ大賞」（1作品。「優秀作品賞」から選出）は当日、入賞者やビデオファンが集う会場で、映画作家の大林宣彦氏やアニメーション映画監督の高畑勲氏らで構成する審査委員会による公開審査／トークフォーラムを行い、その場で決定・発表します。

また同日、特別賞として「筑紫哲也賞」と「サポーター賞」も表彰します。「筑紫哲也賞」（1作品）は、故 筑紫哲也氏のご遺族により選出され、ジャーナリスティックな視点に特に優れた作品に贈られます。「サポーター賞」（1作品）は、NPO サポーター（賛助会員）による審査投票によって選出され、最も投票が多かった作品に贈られます。

■本日より、当法人ホームページにて入賞30作品を全編公開（Web配信）

本日12月10日（水）より当法人ホームページにて、入賞30作品の全編を公開します。

「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ（NPOホームページ）URL

<http://tvf2010.org/>

<「東京ビデオフェスティバル」審査委員（50音順・敬称略）>

大林 宣彦（映画作家）
小林 はくどう（ビデオ作家・成安造形大学客員教授）
佐藤 博昭（ビデオ作家・日本工学院専門学校講師）
高畑 勲（アニメーション映画監督）
村山匡一郎（映画評論家）

（アドバイザー）

椎名 誠（作家）
羽仁 進（映画監督）

<「東京ビデオフェスティバル 2015」 今後のスケジュール（予定）>

■発表・表彰式／上映会 : [日 時] 2015年1月17日（土） 9:30～17:45
[会 場] 日本工学院専門学校 3号館・10階ホール
（住所：東京都大田区西蒲田 5-23-22）
※入場無料。
※終了後は交流会を開催（別会場／18:15～19:45／有料制）

■「ビデオ大賞」決定・発表 : 上記「発表・表彰式／上映会」にて実施する、審査委員による公開審査／トークフォーラムを経て、その場で決定・発表。

■「特別賞」発表 : 上記、「発表・表彰式／上映会」にて。
・「筑紫哲也賞」: 入賞30作品の中からジャーナリスト故筑紫哲也氏のご遺族により選出。
・「サポーター賞」: 入賞30作品の中からNPO支援サポーターの投票により決定。

■TVF2015 トークフォーラム『集まれ！映像作家たち』
[日 時] 2015年1月18日（日） 10:00～15:00
[会 場] 日本工学院専門学校 3号館 16階プレビューールーム
[定 員] 50名（事前申込制）
※有料制。
※詳細は当法人ホームページにて案内予定。

<NPO 法人 市民がつくる TVF について>

NPO 法人 市民がつくる TVF は、31年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル」(TVF/日本ビクター主催・2009年3月閉幕)の精神を継承し、市民有志が集まって結成した団体です(設立:2009年11月)。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

<東京ビデオフェスティバルとは>

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に1978年以来通算37回継続開催となる映像祭です。当NPOの主催となって今年で6回目を迎えます。

<本件に関する報道関係窓口>

特定非営利活動法人 市民がつくるTVF

担当：事務局長 木下 秀明 【連絡先】TEL:090-9950-2827/E-mail:tvf2015@gmail.com

〒143-0015 東京都大田区大森西 2-16-2 こらぼ大森 2F TEL:03-6404-6613/FAX:03-6404-6614

<「東京ビデオフェスティバル 2015」入賞作品一覧>

■「優秀作品賞」(10 作品)

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	都道府県
1	温泉街に、あかりをつけて。	稚内北星学園大学 (代表：白石拓也)	21	20：00	北海道
2	絵手紙に綴られた東日本大震災	渡邊 日菜 (中央大学 FLP 松野良一ゼミ)	21	19：59	東京都
3	これで良いのか！里山破壊 ＜巨大霊園建設反対運動から見てきたもの＞	御法川 直樹	55	14：53	神奈川県
4	ぼくのくるまいす ～障がいをもつ親と子	土生 拓海	20	14：53	神奈川県
5	想いは時空をこえて	松商学園高等学校 放送部	—	19：58	長野県
6	アジア太平洋戦争、中国の2つの戦場	同朋高等学校 放送部	—	15：31	愛知県
7	Remembrance ～追憶のための往復書簡～	塚原 真梨佳 (成安造形大学)	22	20：00	京都府
8	地図から消された島	松田 治三	77	19：15	広島県
9	といといの子どもたち	大野 進二	73	17：28	山口県
10	PFLEGESTUFE/LEVEL of CARE	Julia PETERS	38	20：00	ドイツ

注)・作者名敬称略。団体入賞のうち年齢表記のあるものは、代表者の年齢。

・国内・海外の順で記載。国内は北から都道府県順で記載。海外は全て英語表記。

■「佳作」(20 作品)

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	都道府県
1	大型書店がやってきた	有沢 準一	77	12：43	北海道
2	きずな～支えられて15年	園部 真人	65	9：50	北海道
3	銃を置いた兵士たち ～消えていく沖縄戦秘話～	北星学園大学 阪井研究室映像制作チーム	—	16：50	北海道
4	弥十郎田植え踊り	NPO 法人朝日町エコミュージアム協会 (代表：花山 護)	55	13：15	山形県

NO	作品名	作者名	年齢	作品時間	都道府県
5	STRANGE	亀田 貴也	—	18 : 11	栃木県
6	LIFE IS RIVER	内田 みのり (埼玉県立芸術総合高等学校)	17	14 : 00	埼玉県
7	愛すべき人びと	菊竹 伸輔	19	19 : 56	埼玉県
8	川口クワイヤガールズ	加藤 秀樹	55	19 : 40	埼玉県
9	コアジサシ 楽園の悲劇	石倉 康雄	73	14 : 10	埼玉県
10	心満たす焔	内田 一夫	78	16 : 27	埼玉県
11	脱皮できない蛇は死ぬ	佐々木 真由 (埼玉県立芸術総合高等学校)	17	12 : 43	埼玉県
12	門を作るということ	埼玉県立川越高等学校 放送部	—	10 : 08	埼玉県
13	生きて伝える —戦災孤児 吉田由美子さん—	鈴木 賢士	82	19 : 00	東京都
14	水車の里 街角に在り	蒲 宏樹	67	14 : 05	東京都
15	李さんの綿	湯本 雅典	59	20 : 00	東京都
16	ジオラマの世界に生きる	藤井 喜郎	76	17 : 30	神奈川県
17	わたしの押し花帳	山腰 美香 (成安造形大学)	20	13 : 00	滋賀県
18	BAHAR IM WUNDERLAND/BAHAR IN WONDERLAND	Behrooz Karamizade	36	16 : 00	ドイツ
19	WIND	Robert Lobel	30	3 : 49	ドイツ
20	WELCOME TO BAVARIA	Mattias Kobmehl	27	11 : 21	ドイツ

注)・作者名敬称略。団体入賞のうち年齢表記のあるものは、代表者の年齢。

・国内・海外の順で記載。国内は北から都道府県順で記載。海外は全て英語表記。